

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年2月15日作成)

小委員会名	G 空間社会デザイン小委員会	主 査 名：阪田知彦 就任年月：2023年 4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：下川雄一
設 置 期 間	2023年 4月 ～ 2025年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>G 空間社会（地理空間情報高度利用社会）形成のためには、地理空間情報利用の多様化・多角化をより一層進めることが求められる。とりわけ、ウィズコロナ・ポストコロナ時代における地理空間情報の可能性を示し、より効率的で安全・安心な建築・都市、地域空間のあり方を示さねばならない。さらには、地理総合をはじめ、教育分野においても地理空間情報の活用が進めば、全ての世代が関わる新たな空間デザインの潮流を生み出す可能性すら秘めている。そこで本小委員会においては、多様な地理空間情報の活用はもとより、AI・機械学習・BIMなどの最新技術とGISの連携による地域空間デザイン手法の提案を行う。</p> <p>初年度：定期的に各委員間で研究発表、意見交換、情報交換を行う。小委員会の回数としては3ヶ月に1回、年4回程度を開催（オンライン実施を予定）する。小委員会主催・共催のシンポジウムを開催する。建築学会大会OS開催と建築学会大会研究協議会開催を検討。</p> <p>2年度：前年度の議論をもとに、共同研究を検討する。定期の小委員会（年4回程度）は継続的に開催し、情報・システム・利用・技術シンポジウムでOSを企画する。また、建築学会大会OS開催等を検討。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：阪田知彦（建築研究所） 幹事：山田悟史（立命館大学）、中澤公伯（日本大学） 委員：大内宏友（日本大学）、大場 亨（パスコ）、北垣亮馬（北海道大学）、 小林祐司（大分大学）、関口達也（京都府立大学）、瀧澤重志（大阪公立大学） 藤井健史（金沢工業大学）、片山耕治（政策研究大学院大学）、 長岡公一（NTTアーバンソリューションズ総合研究所）、稲坂晃義（千葉工業大学）	
設置WG (WG名：目的)	—	
2023年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	1. 研究協議会：G 空間社会の成立と防災における情報活用の未来 <div style="text-align: right;">参加者数 55名</div> 『情報システム技術部門研究協議会資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	—

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた 成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催数については、前半においては研究協議会開催についてのメールでの情報共有を中心として行っていたことから、開催数に匹敵する実績だと考えている。 2. 今年度は研究協議会に小委員会としてのリソースを全集中させたことから、その他の目立った実績はないものの、新規委員3名の追加をはじめとして新たな展開を排除せず多方向の検討を行っていくための体制構築ができた。
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. さらなる委員の増強に向けたプロモーションの推進 2. オンラインや会議室だけでなく、現場見学などのイベント機会の創出
<p>その他</p>	<p>—</p>